

2006年3月期中間決算説明会

2005年11月21日

株式会社ホロン

JQ7748

Solutions for Mask & Wafer Metrology

INDEX

- 1.上期のトピックス
- 2.2006年3月期中間決算の概要
- 3.2006年3月期の業績見通し及び課題と対応

1. 上期のトピックス

上期のトピックス

- H17.6.14 開発・技術担当常務取締役の新設
技術部門の強化・開発責任体制の
明確化
- H17.8.5 中間期及び通期の業績下方修正
- H17.8.5 新製品微小寸法測定装置EMU-
270、超解像欠陥検査装置DIS-05の
発売(発売開始はH17.9から)
- H17.9.1 ジャスダック市場の制度信用銘柄
へ選定される

2.2006年3月期中間決算の概要

中間期損益(対予想比)

(単位:百万円)

	従来予想*	05年9月期	対予想比	
	金額	金額	増減額	増減比(%)
売上高	380	364	16	-4.2%
経常利益	175	142	33	18.9%
中間純利益	112	86	26	23.2%

*従来予想は、2005年8月5日に公表した修正数字を使用しております。

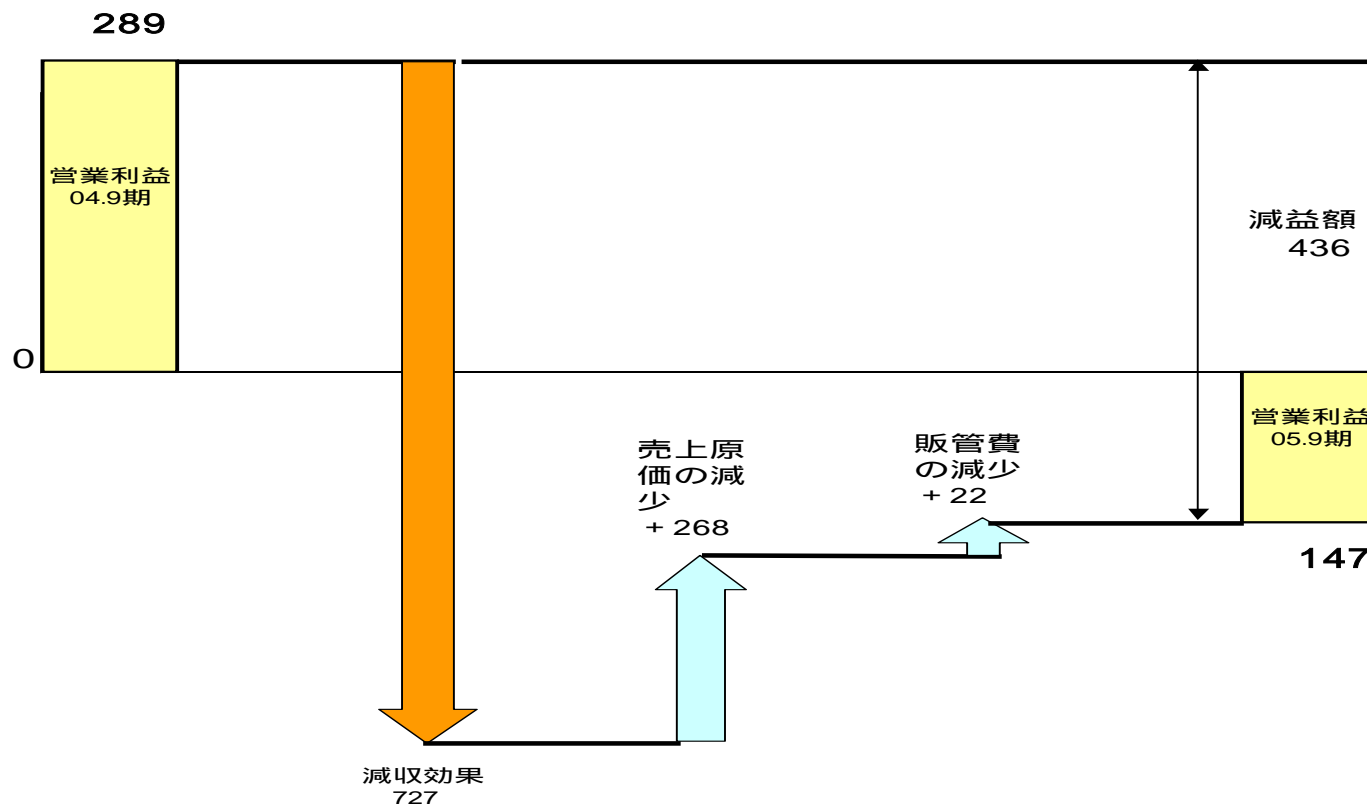
中間期損益(対前期比)

(単位:百万円)

	04年9月期		05年9月期		対前年同期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減比(%)
売上高	1,091	100.0%	364	100.0%	727	-66.6%
売上総利益	591	54.3%	133	36.6%	458	-77.5%
販管費及び一般管理費	302	27.8%	280	77.0%	22	-7.3%
営業利益	289	26.5%	147	-40.4%	436	-150.9%
経常利益	303	27.9%	142	-39.1%	445	-146.9%
中間純利益	193	17.8%	86	-23.8%	279	-144.6%

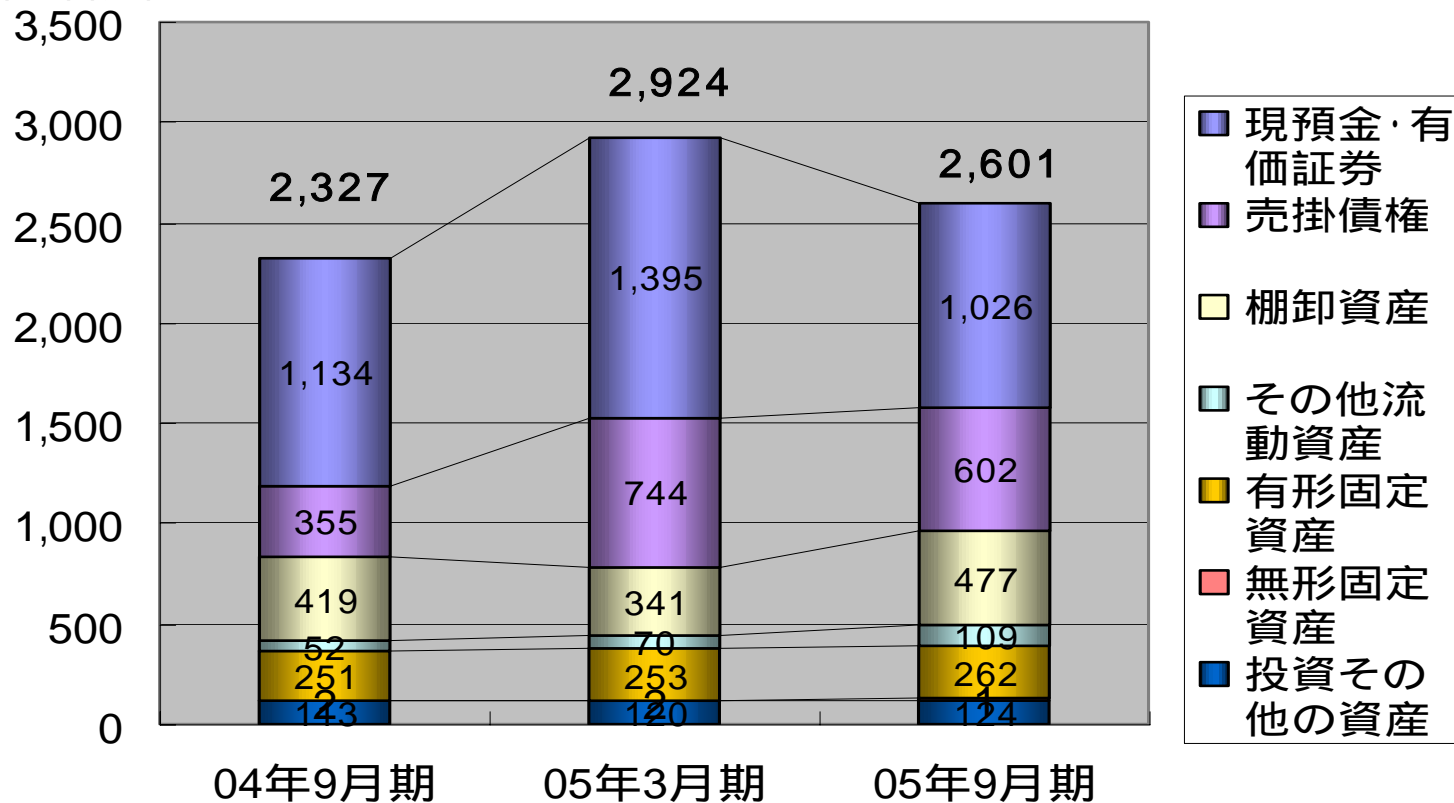
中間期営業利益 対前年同期比増減要因

単位：百万円



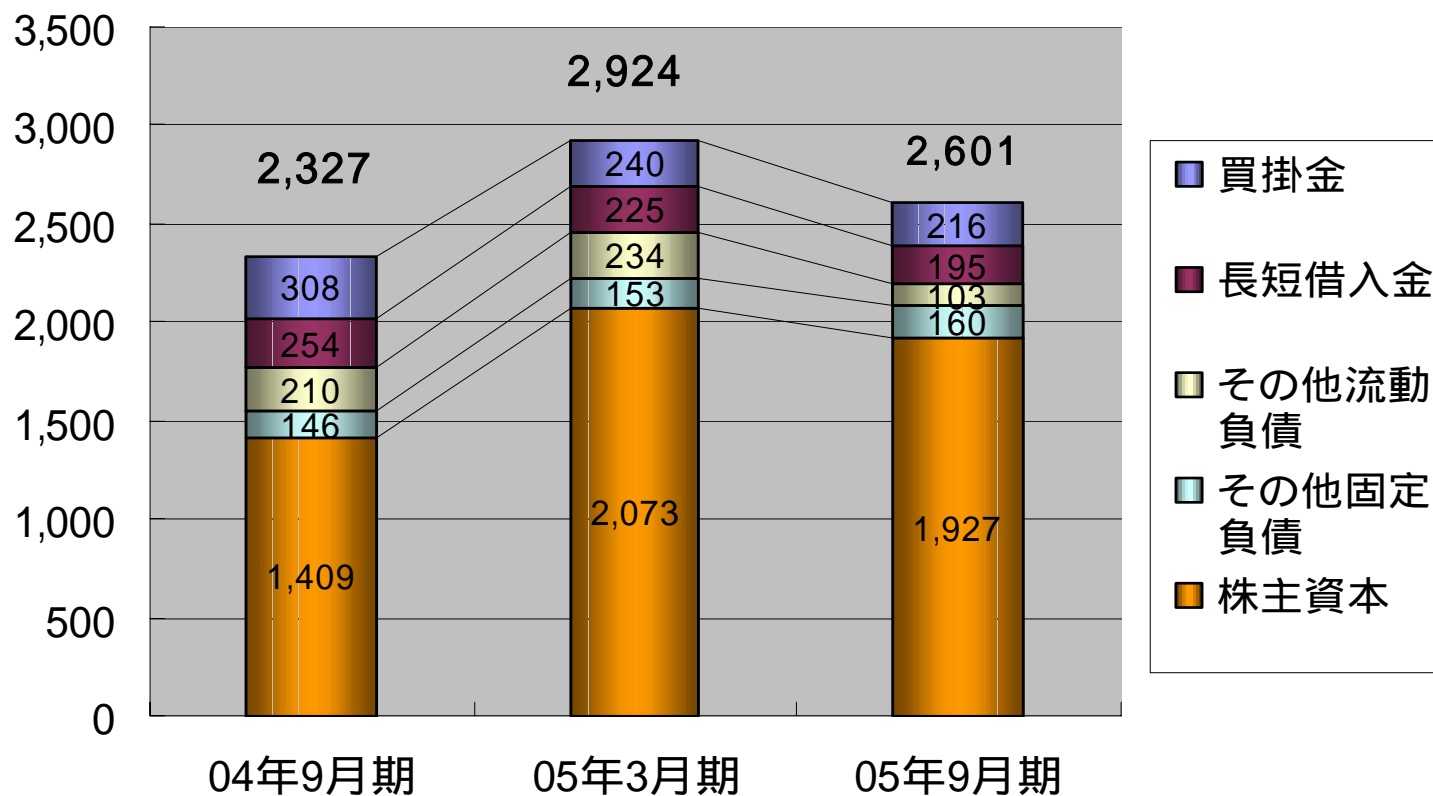
資産の状況

単位：百万円



負債・資本の状況

単位:百万円



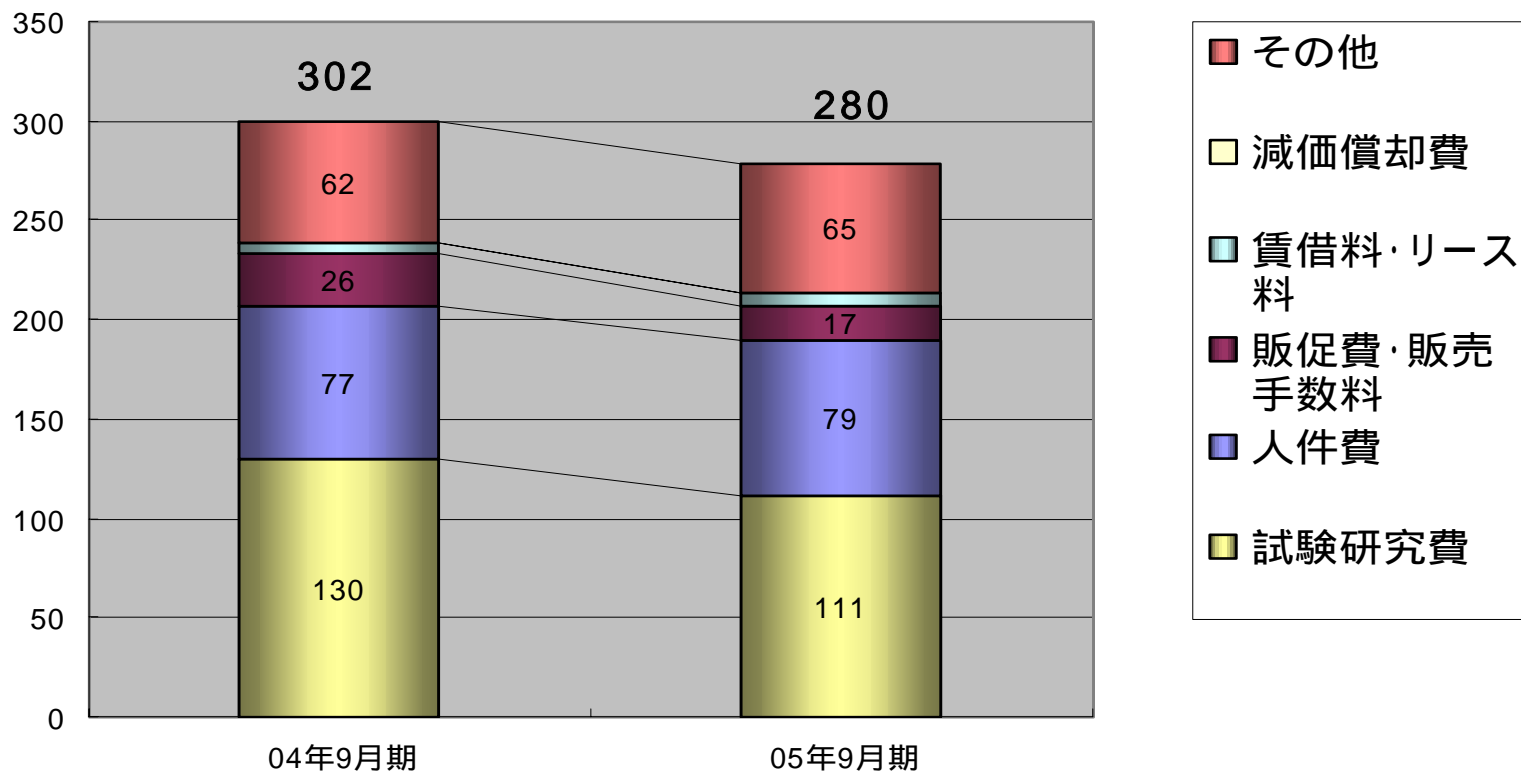
キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

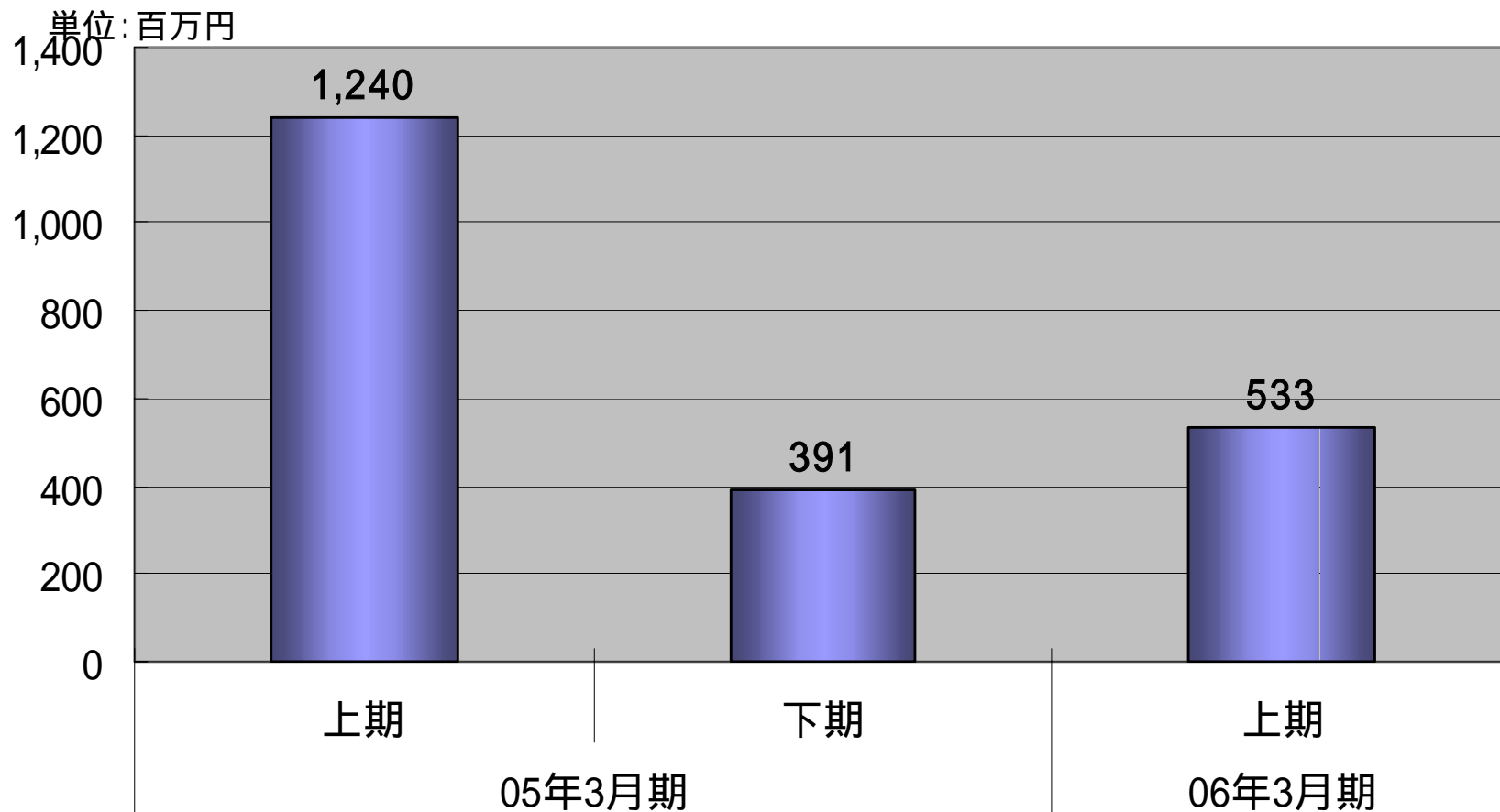
	04年9月期	05年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	179	280	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	25	116	91
財務活動によるキャッシュ・フロー	82	72	10
現金及び現金同等物の増加額	283	469	186
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,134	926	208

販管費の状況

単位: 百万円



受注高の状況



3.2006年3月期業績見通し及 び課題と対応

業績見通し

(単位:百万円)

	前期	06/3期予想	増減額	増減率	05/9期
売上高	2,250	1,880	370	-16.4%	364
経常利益	527	203	324	-61.5%	142
(売上高比)	23.4%	10.8%			-
当期純利益	334	128	206	-61.7%	86
(売上高比)	14.9%	6.8%			-

今後の課題と対応(1)

1. 当社のコア事業(P19「当社の事業領域」： のマーケット)での優位性確保
 - (1) 製品差別化
お客様からのより高度な要求(チャージ・アップのこれまで以上の抑制、再現性のアップ、スループットの向上、レジストマスクへの対応等)に応え製品の優位性を確保し、NO.1シェアを確保する。(本年9月、EMU270を発売)
 - (2) 営業力強化によるお客様のニーズの把握
 - (3) このマーケットでのキャッシュフローの稼得

EMU270と旧機種のパフォーマンス対比

H17.8.5現在

		EMU-250	EMU-270
対応マスク		COG/PSM	COG/PSM/ Resist (ADI/AEI)
チャージ対策		Charge-Killer	Wind-SEM方式
再現性	Static*1	0.5nm	0.4nm
	Dynamic*2	0.8nm (COG)	0.8nm (COG/PSM) 1.0nm (Resist)
位置きめ精度		± 400nm	± 150nm
スループット(MAM*3)		10 sec/meas.	6 sec/meas.

今後の課題と対応(2)

2. 今後の成長分野への進出(P19「当社の事業領域」： のマーケット)

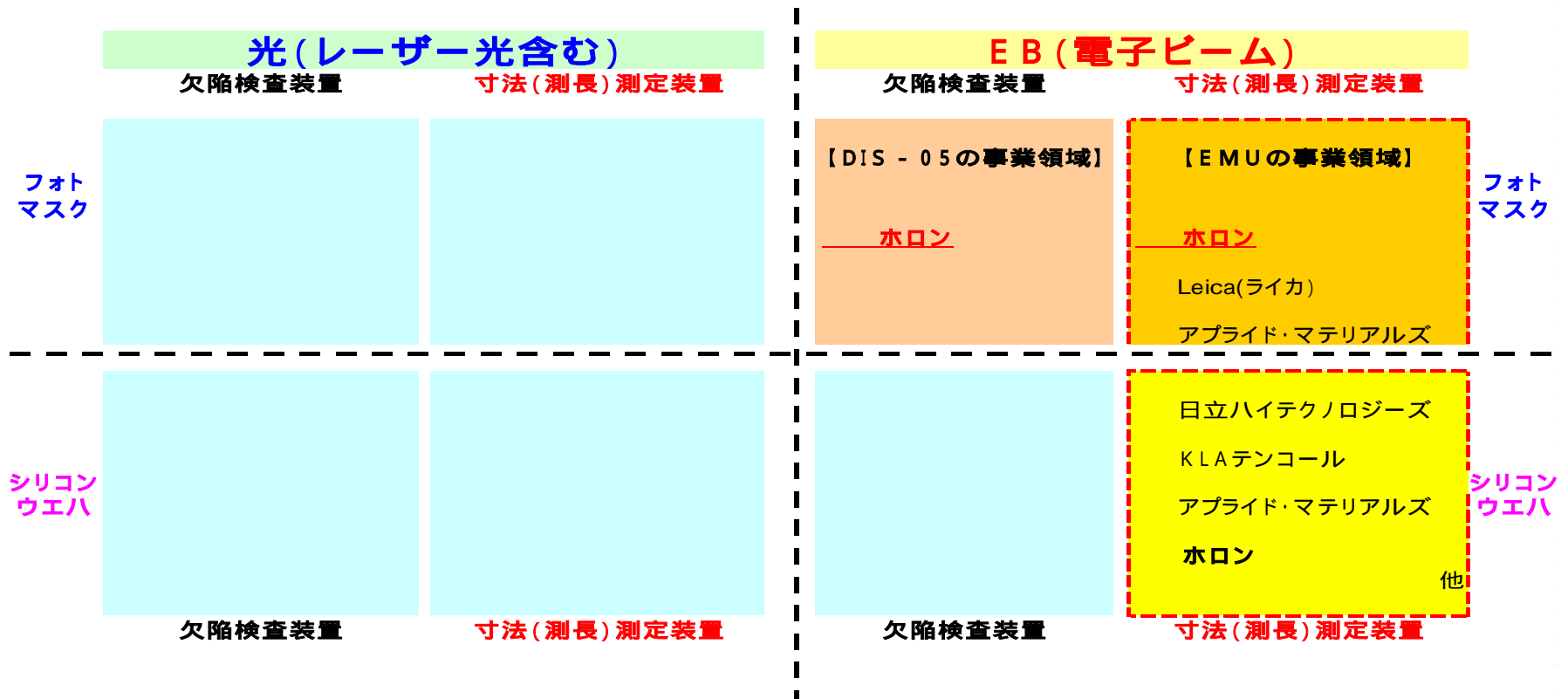
(1) 新たなマーケットへの進出

新製品欠陥検査装置(DIS-05)の発売により新たな事業領域への進出。

(2) 業績変動の抑制

新たな製品群を開発することにより、製品点数の少なさからくる業績変動を極力抑えるような事業構造を目標とする。

当社の事業領域



今後の課題と対応(3)

3. 潜在的な市場ニーズ(今後の製品シーズ)の発掘
 - (1) 大学等との提携・共同研究による新たな製品シーズの発掘
 - (2) 営業力強化によるお客様の潜在ニーズの発掘

今後の課題と対応(4)

4.短期的課題

(1)業績の早期回復

当面新製品EMU-270の販売に注力し、
上期業績の挽回を図る。

(2)新製品DIS-05の早期販売

欠陥検査装置DIS-05で早期に、販売実
績を上げることが目標とする。

業績見通しの開示について

- 本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、下記のリスク等や不確定要因等を含んだものであることをご了承願います。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に株式会社ホロンが将来の見直しを見直すとは限りません。
- 当社の製品については国内販売については検収基準、海外については船積基準ですが、新製品等の一部については検収基準により売上を計上しております。本資料における売上見込みは現時点での進捗見込みに基づくものであり、検収が遅れるリスクを含んでおります。
- また、当社を取り巻く経済情勢、株式市場動向等により、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。